

愛知国際学院 2025年度（2025年4月～2026年3月）

自己点検・自己評価報告書

愛知国際学院では教育理念の達成と日本語教育機関としての向上を図るため「自己点検自己評価委員会」を設置し、以下の通り『自己点検・自己評価報告書』を作成いたしました。

【評価基準】

A：良

B：可

C：不可

1. 教育の理念・目標	評価
1.1 学校の理念、目的・目標及び育成人材像が明確になっているか。	A
1.2 理念、目的は職員及び学生に周知、徹底されているか。	A

2. 学校運営	評価
2.1 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。	A
2.2 学校の理念や目的に基づいた学校の運営方針や事業計画が定められているか。	A
2.3 組織運営や人事、財務管理に関する規定が定められているか。	A
2.4 学校運営を合理的に行うための会議体が規定されているか。	A
2.5 効率的な業務運営を行うために、情報システム化が図られているか。	A
2.6 学校運営に必要な人材確保と育成が行われているか。また、確保した人材の処遇の向上が図られているか。	A
2.7 危機管理体制が整備されているか。	A

3. 教育体系	評価
3.1 教育理念に沿った教育課程が体系化されているか。	A
3.2 成績評価や進級、終了の判定基準を明確にし、適切に運用されているか。	A
3.3 カリキュラムは体系的に編成されているか。また、カリキュラムの見直し、変更を行っているか。	A

4. 教育指導・成果	評価
4.1 カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。	A
4.2 学生の能力に応じた授業・指導を行っているか。	A
4.3 学生の理解度を把握し、適切な指導を行っているか。	A
4.4 教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	B
4.5 学生の日本語資格取得（EJU、JLPT等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか。	A
4.6 日本語習得の不足している学生に対し適切な対応策をとっているか。	A
4.7 学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか。	A
4.8 学生の卒業後の進路を適切に把握しているか。	A
4.9 大学・大学院及び専門学校に進学先情報また就職先情報を積極的に収集しているか。	A

5. 学生支援	評価
---------	----

5.1 学生に対する学習相談や進路相談の支援体制が整備されているか。	A
5.2 出席率が低下した学生に対し適切な対応策をとっているか。	A
5.3 学生の健康管理や安全対策及び生活指導の支援体制が整備されているか。	A
5.4 学生の経済面に対する支援体制は整備されているか。	A
5.5 学生の居住環境及び生活環境の支援体制は整備されているか。	A
5.6 保護者と適切に連携しているか。	B

6 教育環境	評価
6.1 学校の施設、設備は十分かつ安全に整備されているか。	A
6.2 教育資材は適切に整備されているか。	A
6.3 学習効率を高めるための環境は整備されているか。	A

7.入学者の募集	評価
7.1 学生募集活動は、適切に行われているか。	A
7.2 入学許可選考基準が明確に定められているか。	A
7.3 入学者に対するオリエンテーションを行っているか。	A
7.4 学校情報は授業料も含め、学生の母国語で記載した資料で説明しているか。	A
7.5 入学辞退者、中途退学者に関する手続き及び授業料等の返納について明確に規定されているか。	A

8.財務	評価
8.1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	A
8.2 予算、収支計画は適切に立案され、実績との差異分析及びその対応は適時に実施されているか。	A
8.3 財務に係る会計監査は適切に行われているか。	A

9.法令遵守	評価
9.1 入出国管理及び難民認定法をはじめ、各種関係法令を遵守し適切な運営をしているか。	A
9.2 個人情報保護の取り組みは、適切に行なわれているか。	A
9.3 学生に対し、我が国の法令を順守させる指導を行っているか。	A
9.4 自己評価を実施し、問題点の改善に努めているか。	A
9.5 自己評価の結果を公開しているか。	A

10. 地域貢献・社会貢献	評価
10.1 学校施設の活用や社会・地域貢献を行っているか。	B
10.2 他の教育機関、企業、団体及び地域との連携、交流を図っているか。	B

【実施時期及び方法、実施体制】

実施時期：2026年3月

実施責任者：学院長

実施担当者：副学院長・教務主任・生活指導担当者・進学担当者・学生募集担当者・経理担当者